

ふたりのコラム

October 29, 2021

認定こども園あかみ幼稚園	園長	中田幸子
認定こども園メイブルキッズ	施設長	新井利枝

《3・4・5歳児》

運動会へのご理解、ご協力ありがとうございました

先日の運動会は、曇りの予報にもかかわらず、4歳児の集合時間まで雨が降っていて、心配しましたが、活動中は降ることもなく、ちょっと薄日が差すこともありました。運動会でもお話ししましたが、登園自粛要請期間に、ご自宅で担任からの映像配信を子どもたちと見てくださっていたこともあり、活動にスムーズに入ることができました。ありがとうございました。残念ながら、体調不良等で当日お休みになってしまったお子さんがいらっしゃいましたが、活動は当日だけではありません。運動会後も各クラスで、活動を楽しみ、一連の流れの中で、園外保育に出かけたりしています。運動会当日負けてしまった5歳児のクラスの子どもたちが、その後、他クラスにリベンジ戦を挑んでいました。

勝った時の喜び、負けた時の悔しさを経験することは、不屈の精神を作り出すだけではなく、相手の気持ちを思いやることにもつながっていきます。また、当日を迎えるまで、そして運動会後の活動の中で、クラスのみんで「力を合わせる」「友だちを思いやる」「考える」・・・などたくさんの学びが見られています。



4歳児、クラスの友だちと話題を共有しながらクラスの一体感を感じ、力を合わせることの心地よさも感じてきました。運動会でお休みの子どもたちもいましたので、その後も、運動会と同様の力を合わせる活動を行ったり、クラスの仲間と体験を共有したりしてきました。

3歳児、ネコというテーマを通して、自分がネコになったり、ネコの好きなお魚を捕る人になったり、イメージはそれぞれですが、みんなと一緒にの楽しさを心地よく感じているようでした。これからも、友だちと一緒にの心地よさや楽しさを感じてほしいと願っています。



佐野市子ども・子育て国際フォーラムが10月24日（日）・25日（月）開催されました！

佐野市と東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）は、保育・教育・研究交流連携事業に関する協定を結んでいます。

今回、佐野市と Cedep との共催事業としてこのフォーラムが行われました。公開保育当日を迎えるまでに年長組保育者を中心に勉強会に参加したり、学年会などで共有したりして、保育を深めてきました。この機会は、私たちにとって大きな学びになったと感じています。



当日、もり2組の保育を公開しましたが、Cedepの先生方が、子どもたちの行動や保育者の援助を見て、意味づけをしてくださり、改めて幼児期の教育・保育の重要性を感じるとともに、私たちが行っていること一つ一つの大切さを確認することができました。また、参加された方は、連日のシンポジウム等を通して、乳幼児から高校生までの子どもの育ちと学びをそれぞれの立場で受け止めたり、理解したりして学ばれたのではないのでしょうか。

どのようなテーマかと言いますと、「自ら考え、社会に発信し、その行動に責任を持ち、より良い状況にしていこう。それは、老若男女、幼児や学生、立場を超えたすべての人々が主体的に考えて行動しよう」…ということです。

このように、市民みんなで子育てのこと、私たちが住むまちのことを考えられるような機会は素晴らしいと思います。



東京大学発達保育政策学センター（Cedep）センター長・副センター長たちとともに 【あかみ幼稚園 むのがにて】

11月8日（月）～13日（土）は おまつり Week

お祭りは、保護者会と園との共催事業です。

昨年に引き続き、今年も秋祭り Week として、もり組がお店屋さんを開いて、小さい学年の子どもたちが買い物に行くような形態とします。そして、昨年に行えなかった保護者の方々の参加も分散した形で行い、最終日には、すみれ音頭や子ども神輿等を保護者の皆様にも見ていただけるように予定しています。お父さんスタッフによる遊びのブースも開催されます。感染防止にご協力いただきながら、安全なまつりが開催されるよう努めたいと思います。

また、たくさんの企業協賛等をいただき、オンライン抽選会におきましては、地域の方々も楽しんでいただけるように企画されています。

皆様のそれぞれの形でのご協力のおかげです。大人も、子どもも楽しめる活動への協働をありがとうございます。当日が楽しみですね！
皆様、どうぞよろしくお祈りします！！

（文責：中田）

《0・1・2歳児》

急に寒くなってきたと思っていましたが、ここ数日は秋らしい清々しい日が続いていますね。
 明日は、メイプルキッズのミニミニ運動会です。子ども達とともに楽しい時間を過ごしていただけたらと思っています。
 お楽しみに・・・。
 先日、子ども達とともに運動会ごっこを楽しみました。その様子をお知らせします。



0歳児クラスでは、大好きなヤギにごはん(ボール)をあげに行きます。小さな手でボールをしっかりと掴むことができるようになってきました。



1歳児クラスは、少し高い台を乗り越え、大きな果物を大きなありの口に運びます。「どれにしようかな？」好きな果物を選んで楽しんでいます。

2歳児クラスは、網をくぐったり、橋を渡ったり・・・探検をしてどんぐりを見つけます。また、大好きなどんぐりマンのダンスもノリノリで踊ります！！一緒に楽しんでくださいね。

この時期になってくると、園生活にもすっかり慣れ、保育者との関係も安定し、さらに子ども達の成長が感じられるようになってきます。どの学年においても、秋とともに保育も深まっていきます。私は、この時期が大好きです。

日々の何気ないやり取りから子どもの成長が感じられ、毎日ウキウキしてしまいます。

そんな、私のウキウキと一緒に味わっていただけたらと思い、いくつかエピソードをお知らせしたいと思います。

エピソード① 0歳児クラスで・・・

担当保育者との関係も安定し、他の保育者にも自ら関わり、バイバイしたりニコニコ微笑みかけたり・・・。

つい先日のこと、つくし組のデッキから「お、おお、おーい」と何となく呼びかけられている感じがして、そちらに目をやると、満面の笑みで「これから外に行くよ」と言わんばかりに私に手を振っていました。私が「先生のこと、おーいって呼んでくれたの？ お外いくの？行ってらっしゃい」と声を掛け手を振り返すと、「うん、うん」と頷きながらうれしそうに靴を持って外に行こうとしていました。きっと、私の姿に気づき、「行ってくるよ」というのを伝えたかったのでしょうか！必死に声を出し呼ぼうとする姿に、自分の気持ちを相手に伝えようとしているんだな、これがこの先のコミュニケーション能力につながっていくんだな！！とその成長にこちらまでうれしくなっていました。

エピソード② 2歳児クラスで・・・

戸外でマルチパネル（写真参照）を橋のようにして遊んでいた数名の子がいました。そろそろお昼が近づき保育者と片付けを始めている子もいました。数名の子がまだ遊びたい様子だったので、私が「まだ遊びたいんだね、こっちから片付けてるね」と声を掛けると、「うん」と頷きその後も遊んでいました。他の子が片付けしている様子を見ていたその子達は、いつの間にか自分達で「よいしょ、よいしょ」とマルチパネルを片付け始めていました。

私が「力持ちだね、こっちまでお願いします」と声を掛けると、二人でバランスを取りながら片付けていました。友達の様子を見て、自分たちも！と自らの意志で行動していたようです。きっと片付ける様子が楽しそうだったのでしょね。こうした日々の繰り返しから、色々なことを学んでいくのですね。



そしてもう一つ、私の好奇心をくすぐるエピソード・・・

3歳のある女の子から「先生、あいだじいさん知ってる？」と声を掛けられました。私が「今日は、おじいちゃんがお迎えなの？」と聞くと「違うよ、あいだじいさん、先生知らないの？」と言い、♪あいだ、あいだ、あいだのじいさん♪と歌いながら行ってしまいました。何だ？新しい手遊びか何かな？と不思議に思い3歳の保育者に尋ねると知らないとのこと・・・。誰なの？あの歌は？好奇心旺盛な私は帰宅後こっそり検索してみました。なぞの人物は、教育テレビにでてくるキャラクターで物の間に入るおじさんでした。しかもちょっとシュールな感じの(笑)。これかあ！♪とちょっと子どもの気持ちに近づけた気がしました。次の日その子に、「先生もあいだじいさん見たよ」というと、「先生も好き？」と聞かれちよっぴり戸惑う私でした・・・(笑)。

(文責：新井)